

2017年3月期 第2四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役社長 グループCEO

2016年10月28日



東証第1部 : 6754
<http://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目 次

I. 事業概要

II. 2017年3月期第2四半期 連結決算概要

III. 2017年3月期 通期業績予想（連結）

IV. T&M事業の今後の取り組み

I. 事業概要

T&M事業

開発・製造・建設・保守用

- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機



その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2016年3月期 実績 (連結) : 955億円

T&M 71%			PQA 20%	その他 9%
モバイル 45%	ネットワーク・インフラ 35%	エレクトロニクス 20%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 15%	アジア、パシフィック 35%	米州 30%	EMEA 20%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 1 . 連結決算概要 - 業績サマリー -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	478	417	△ 61	△ 13%
売上高	490	412	△ 78	△ 16%
営業利益	32	9	△ 23	△ 73%
税引前利益	32	1	△ 31	△ 98%
当期利益	24	△ 1	△ 25	-
当期包括利益	25	△ 32	△ 57	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	当第2四半期 連結累計期間 (4-9月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	359	285	△ 74	△21%
	営業利益	32	5	△ 27	△85%
	(調整後営業利益)*	(35)	(6)	(△29)	(△83%)
PQA	売上高	93	92	△ 1	△0%
	営業利益	6	5	△ 1	△10%
その他 (含：内部消去)	売上高	39	35	△ 4	△10%
	営業利益	△5	△1	4	-
合計	売上高	490	412	△ 78	△16%
	営業利益	32	9	△ 23	△73%
	(調整後営業利益)	(36)	(10)	(△26)	(△72%)

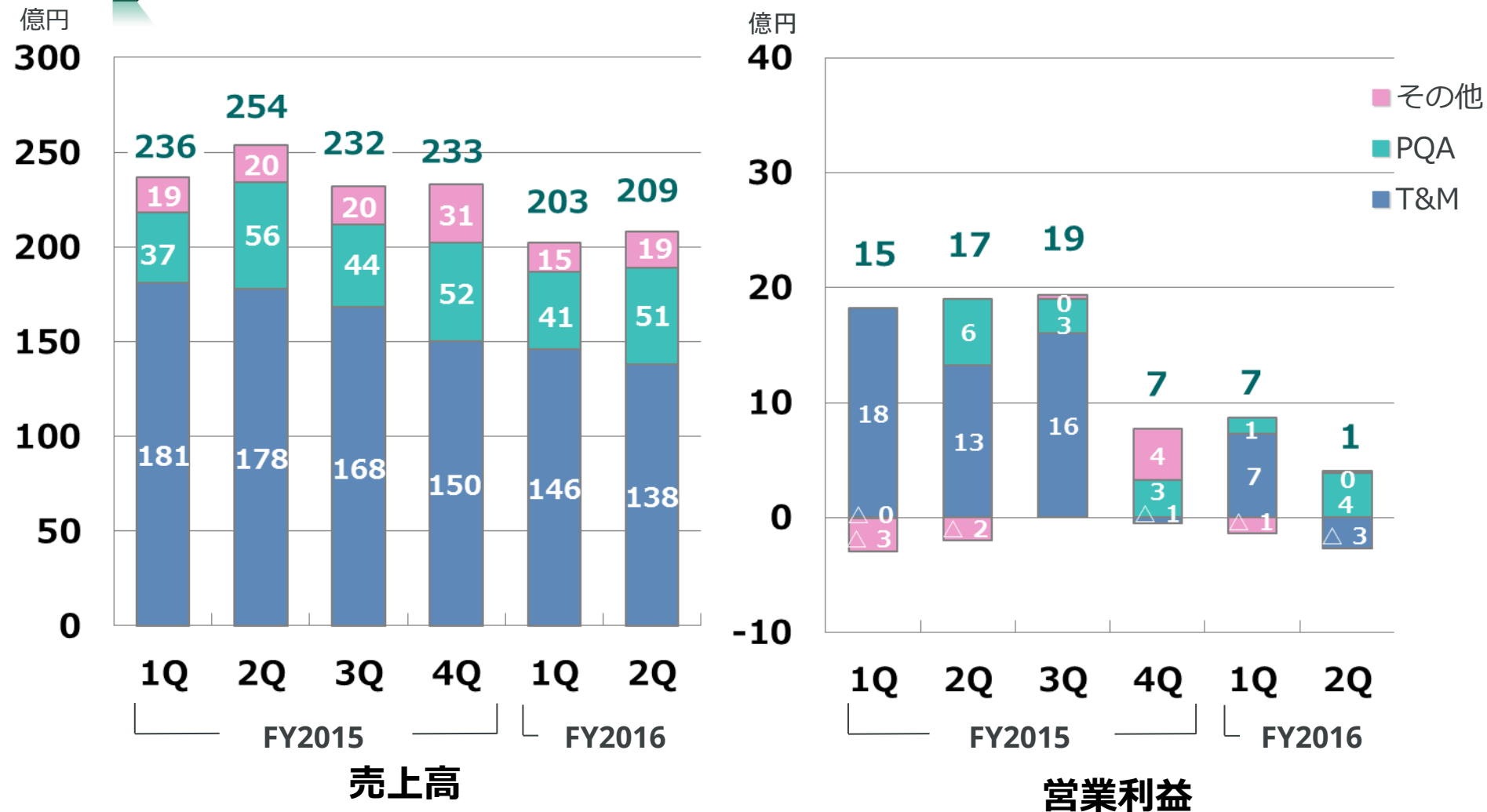
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

*調整後営業利益：営業利益から一過性の性格を持つ損益項目を排除した恒常的な事業の業績を測る当社独自の利益指標。PQA, その他は調整項目なし。

T&M: Test & Measurement PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 3 . 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

▶ 第2四半期のT&Mは営業赤字



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 4 . 事業別営業概況

セグメント

2017年3月期第2四半期（4月-9月）の状況

T&M：スマホ関連市場は投資抑制が続く

モバイル	LTE-Advanced	チップ・端末ハンダーの設備投資抑制継続
	IoT, 5G, Connectivity	オートモティブ・セルラーIoTの開発投資に動き
NW	光デジタル関連への設備投資は堅調	
アジア	LTE-Advanced(3CA)開発投資の先送り スマホ製造市場全体の成長鈍化	
米州	光デジタル関連への設備投資は回復基調	

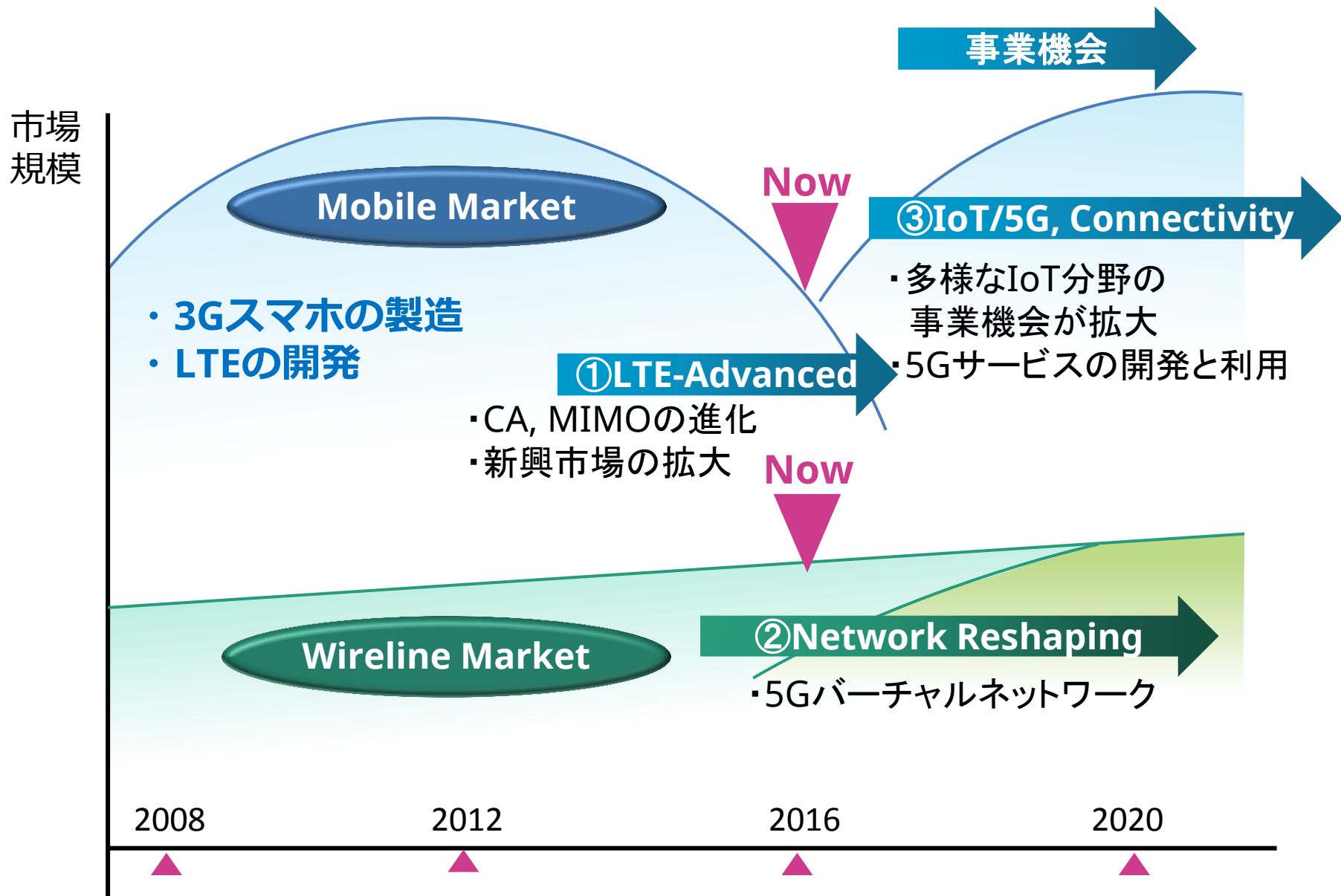
PQA：国内・海外ともX線の需要が堅調

T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance

Ⅱ - 5. T&M事業 計測市場トレンドと事業機会



Ⅱ - 6 . 受注高推移

▶ T&M：前年四半期比23%減少

▶ PQA：計画通りに進捗

億円

300

250

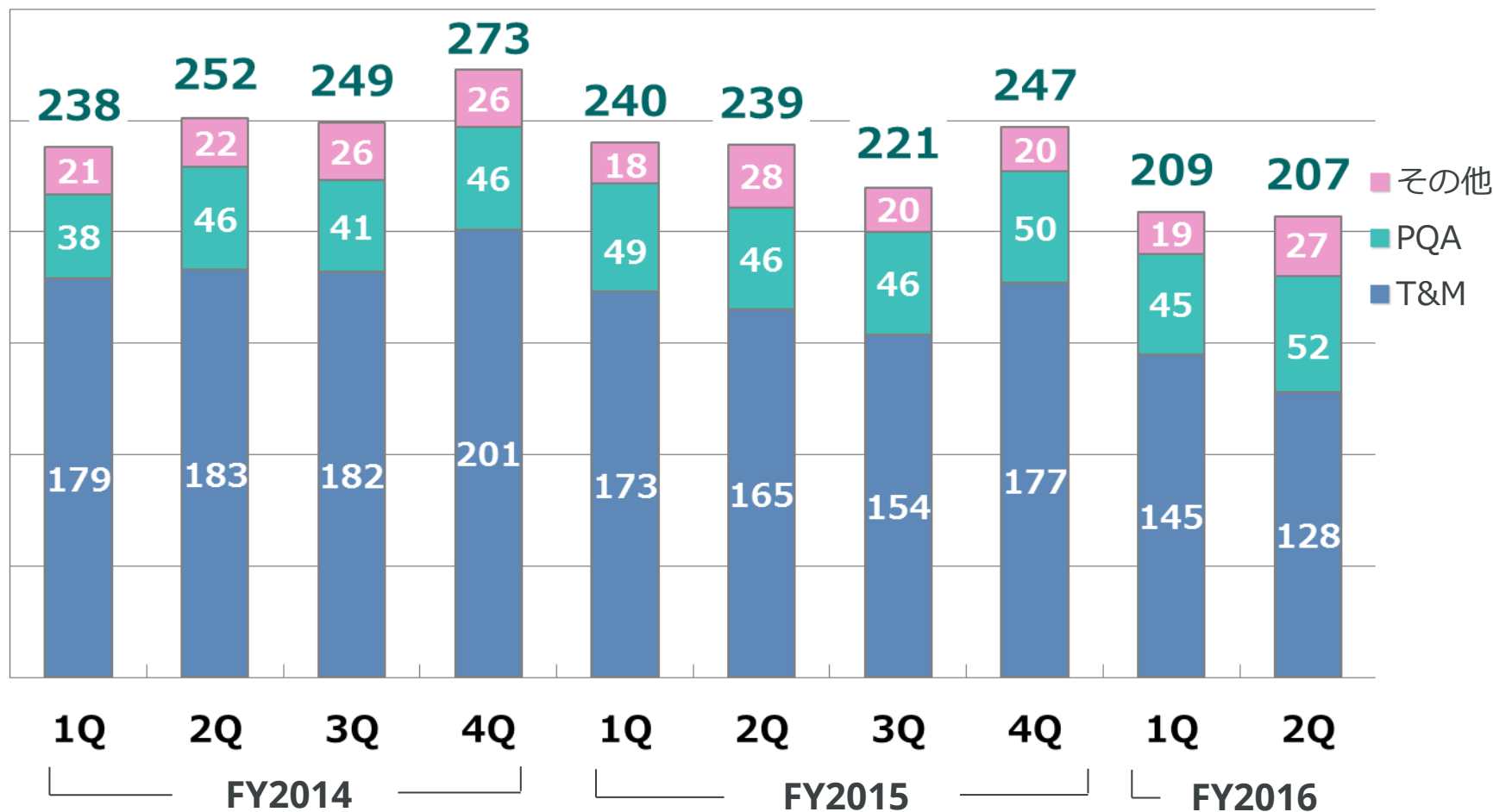
200

150

100

50

0



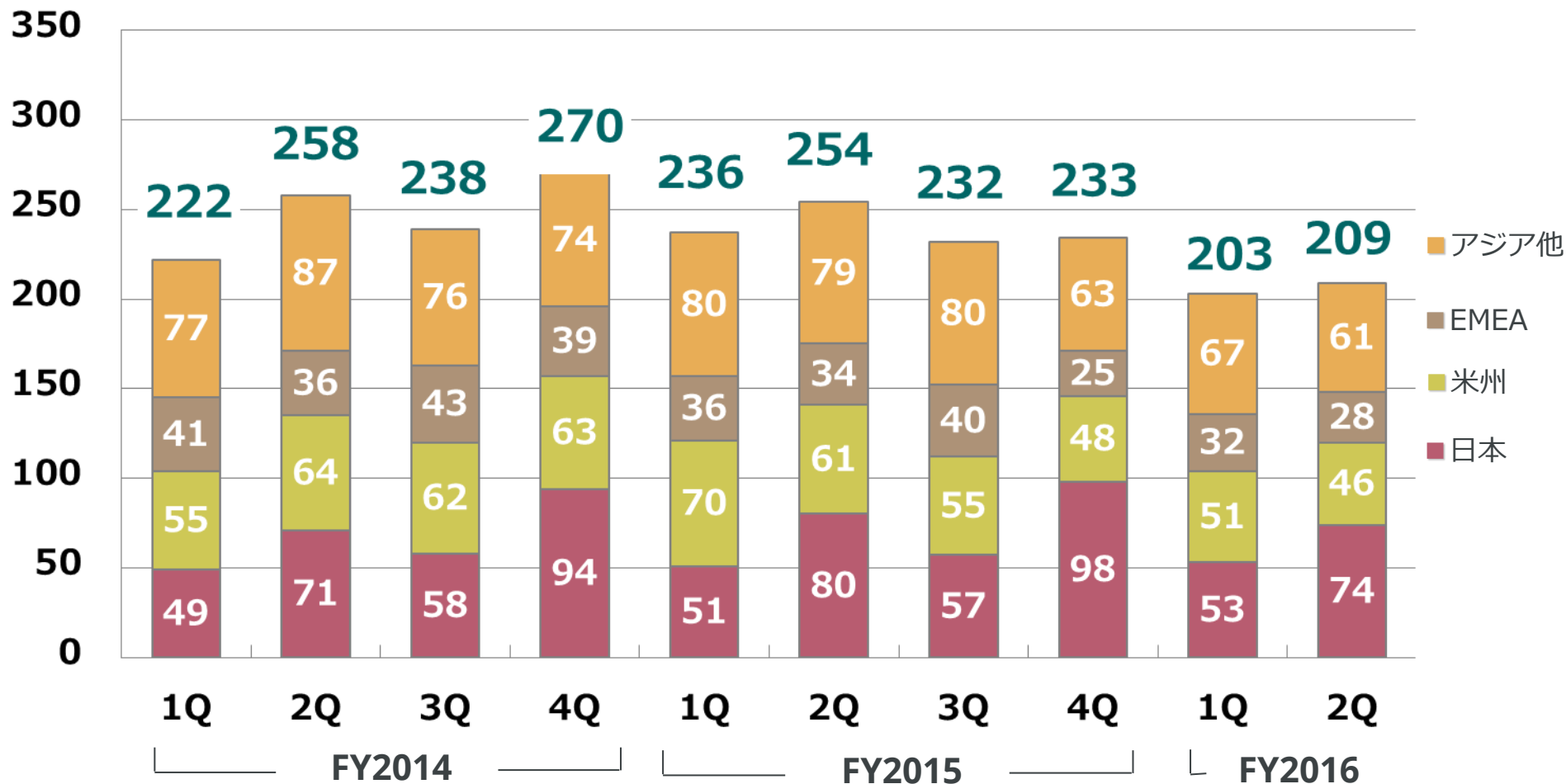
(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ - 7. 地域別売上高推移



前年第2四半期比、国内・海外とも減収

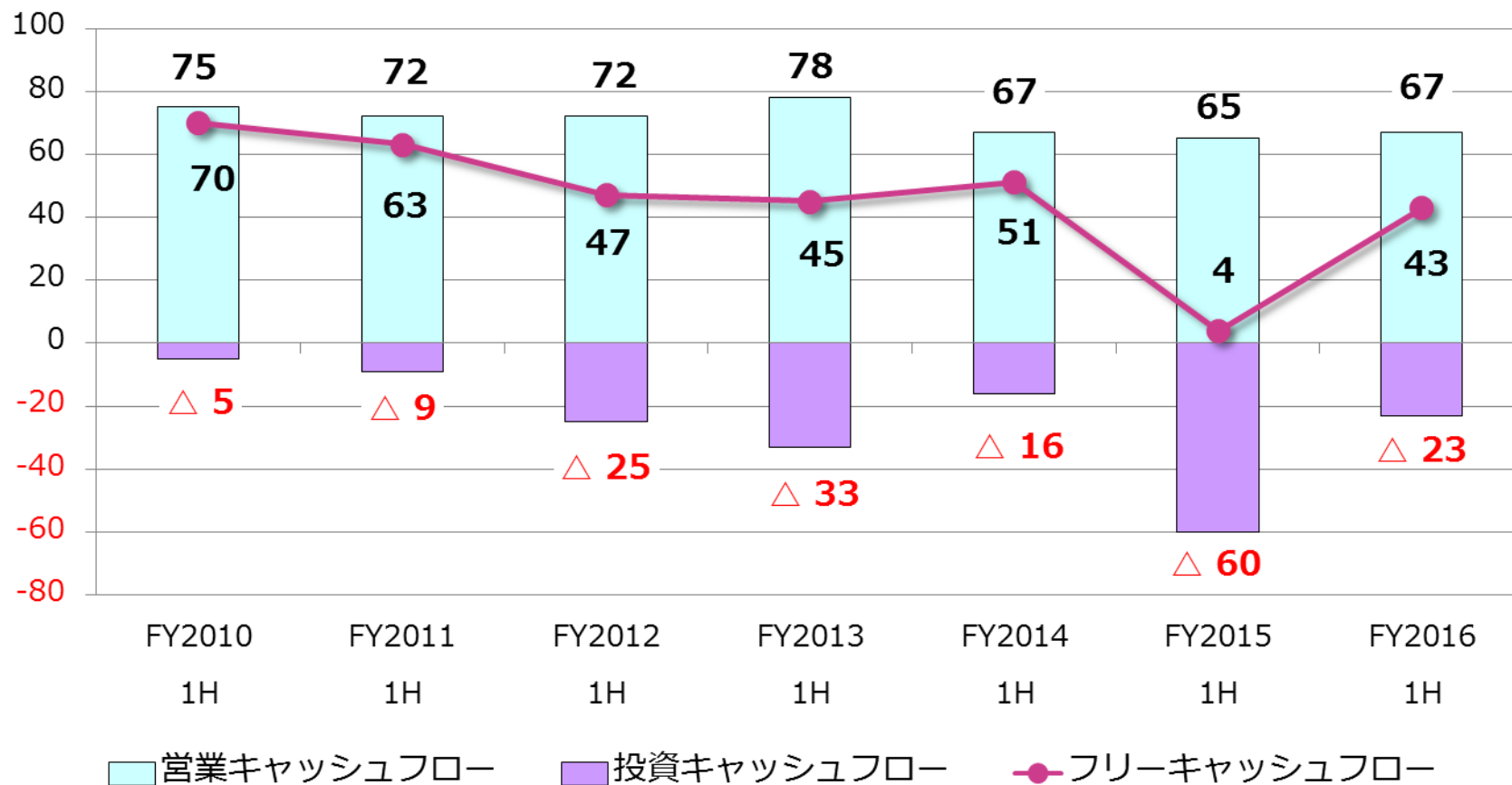
億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

Ⅱ- 8. キャッシュフロー (1/2)

(単位：億円)



(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) FY2010は日本基準、FY2011以降は国際会計基準 (IFRS)

Ⅱ - 8 . キャッシュフロー (2/2)

▶ 営業CFマージン率16%

FY2016 Q2 (累計)

- ①営業CF : 67億円
- ②投資CF : △23億円
- ③財務CF : △17億円

フリーキャッシュフロー
(① + ②) : 43億円

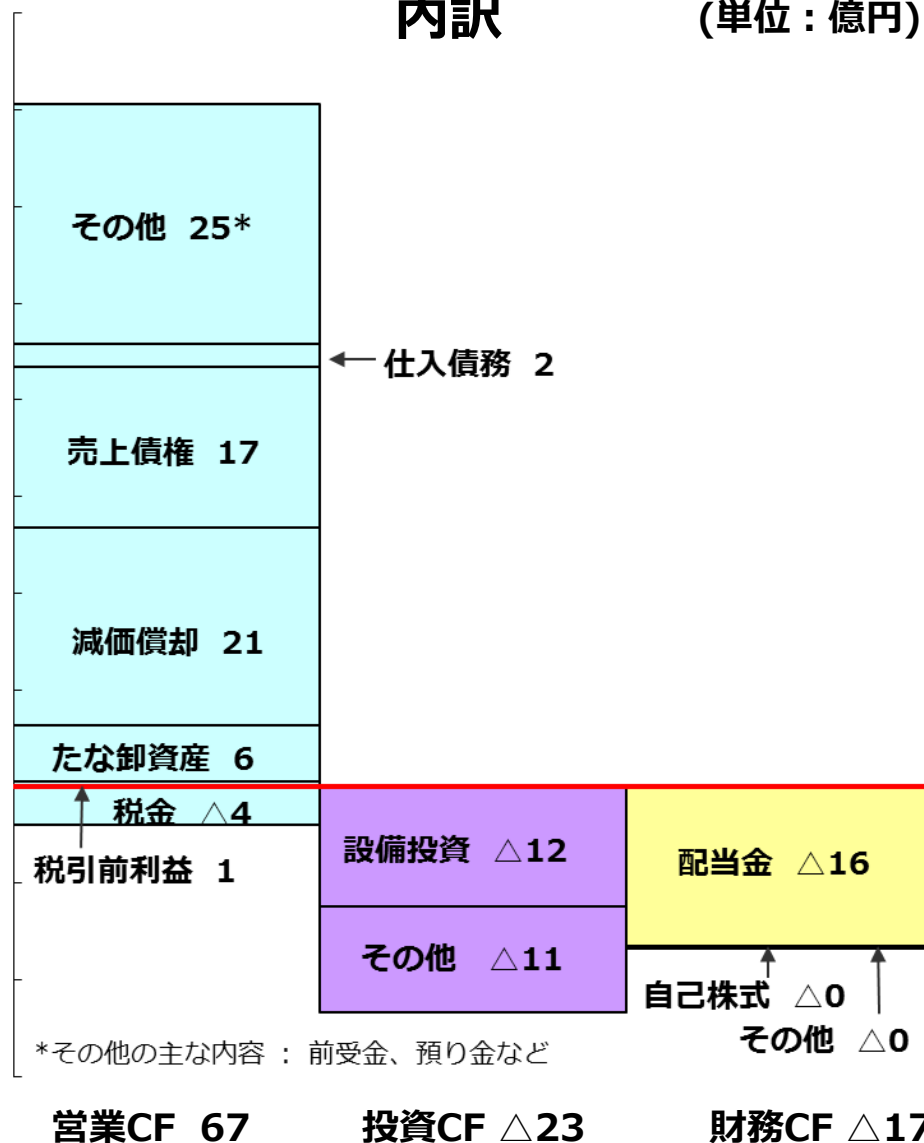
現金同等物期末残高
380億円

有利子負債高
220億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

内訳

(単位 : 億円)



Ⅲ. 2017年3月期 通期業績予想（連結）



T&M 売上・利益業績予想を下方修正

配当は年間15円を維持（中間配当:7円50銭）

（単位：億円）

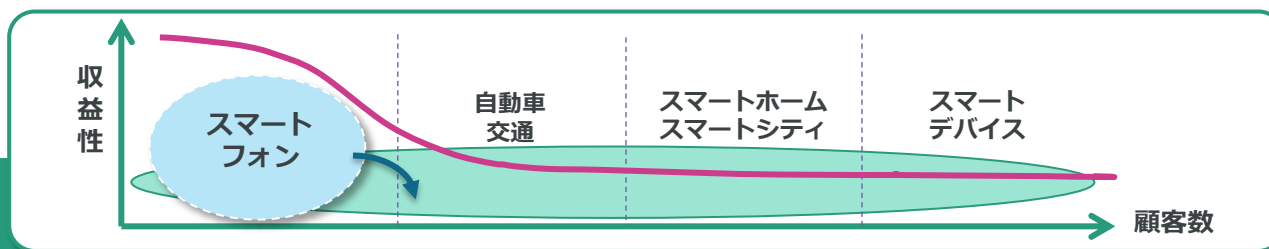
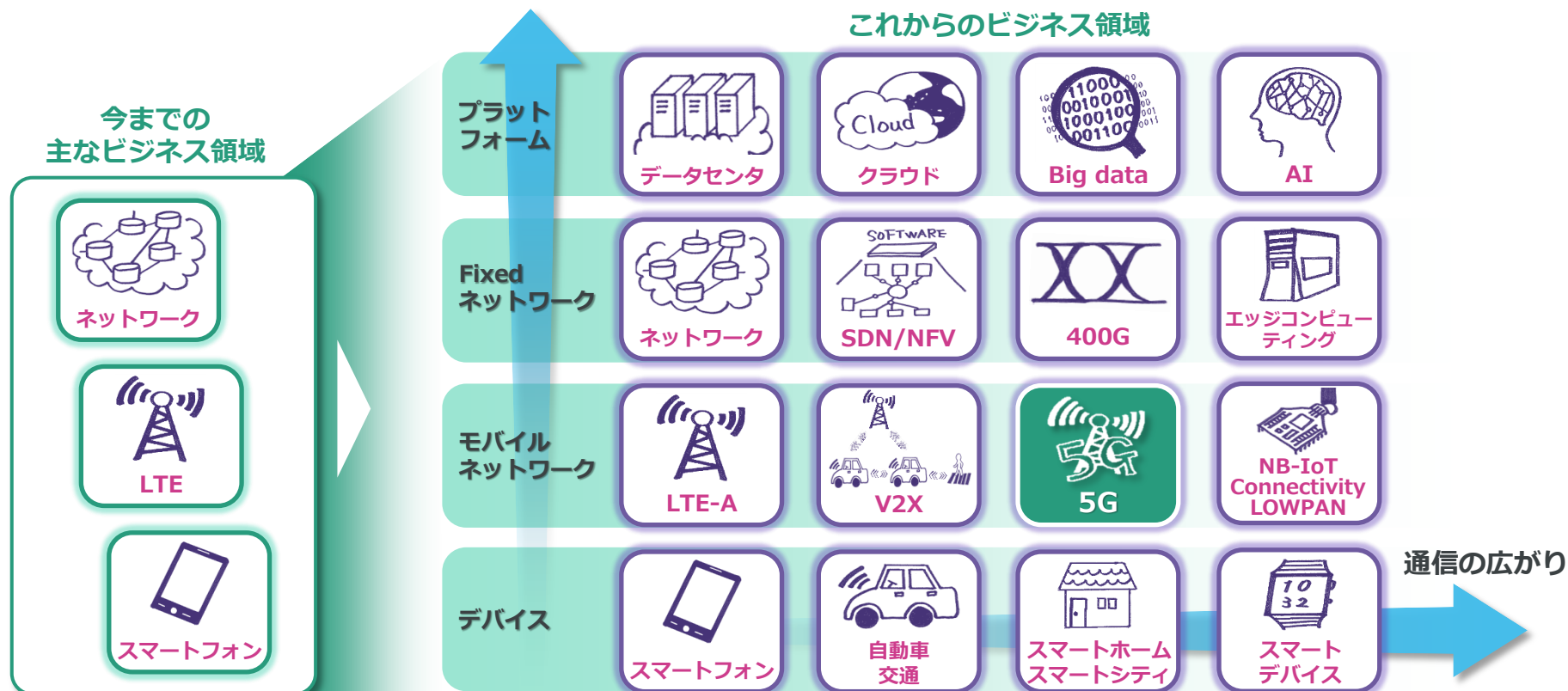
国際会計基準(IFRS)		2016/3期	2017/3期			
		前期実績	通期予想		前期比	
			4/27発表	今回	増減額	増減率(%)
売上高		955	970	875	△ 80	△ 8%
営業利益		59	72	22	△ 37	△ 63%
税引前利益		54	71	14	△ 40	△ 74%
当期利益		38	53	10	△ 28	△ 73%
T&M	売上高	677	680	585	△ 92	△ 14%
	営業利益	47	55	5	△ 42	△ 89%
PQA	売上高	189	200	200	11	6%
	営業利益	12	14	14	2	17%
その他 (含：内部消去)	売上高	89	90	90	1	1%
	営業利益	△ 0	3	3	3	-

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

（参考）FY15為替レート : 1米ドル120円、1ユーロ=133円
FY16期初為替レート : 1米ドル110円、1ユーロ=125円
FY16下期想定為替レート : 1米ドル100円、1ユーロ=110円

IV. T&M事業の今後の取り組み

IV- 1 . IoT/5Gに向けてアンリツのビジネスエリアは拡大



総合的なIoT基盤としての5Gネットワークの発展に貢献する

IV-2. 5G最新動向とテストソリューション

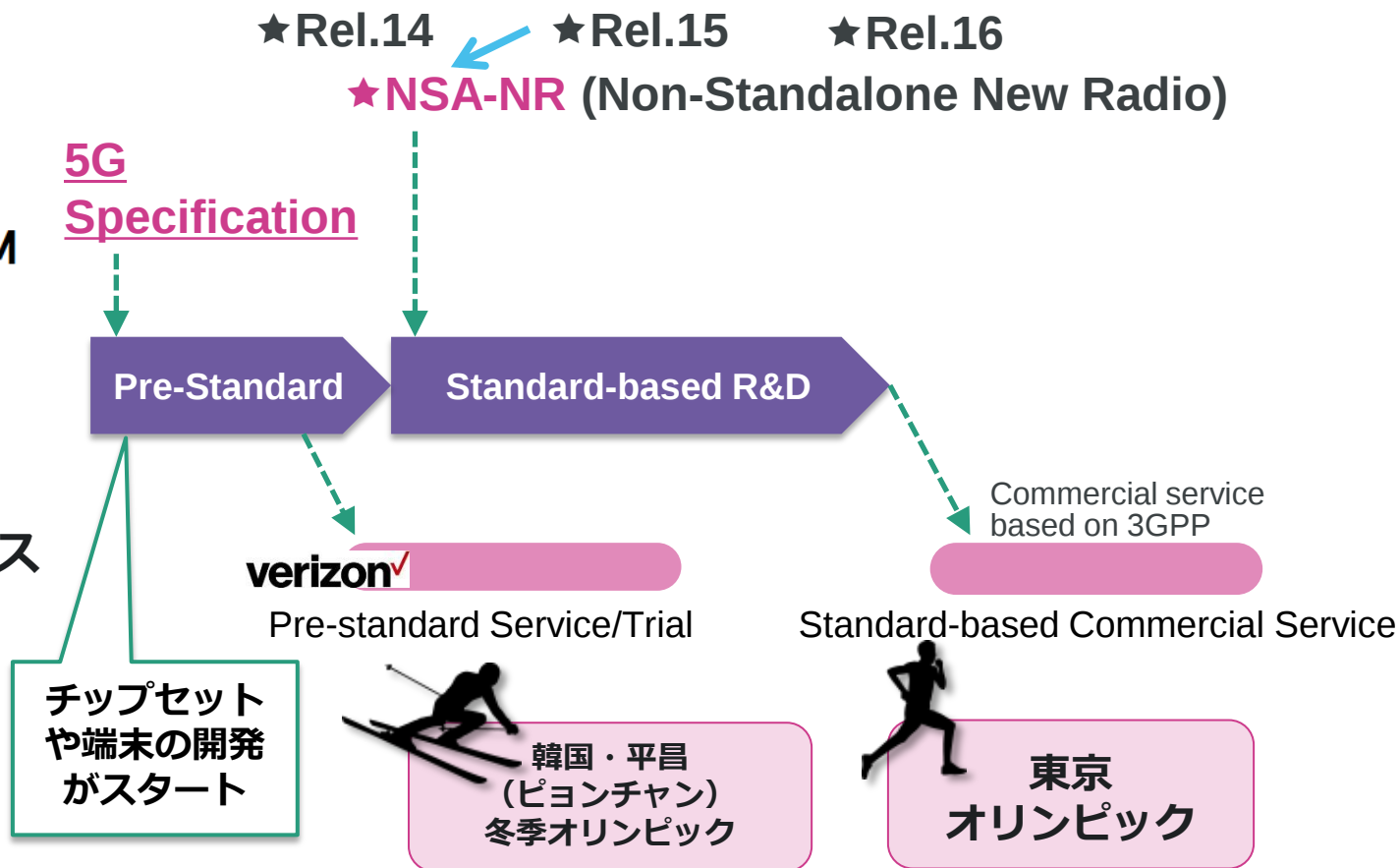
CY2016	2017	2018	2019	2020	2021
--------	------	------	------	------	------



VERIZON 5G
TECHNICAL FORUM

開発フェーズ

トライアル/サービス



テストソリューション



IV-3. アジマスシステム社の買収 (1/2)

- ・会社名： Azimuth Systems, Inc.
- ・本社所在地：米国 ボストン
- ・事業形態：チャネル・エミュレータなどの開発・販売
- ・主な顧客：米州、EMEA、アジアおよび日本のオペレータ、チップセットベンダー、ネットワーク機器ベンダー、UEベンダーなど

Anritsu
envision:ensure

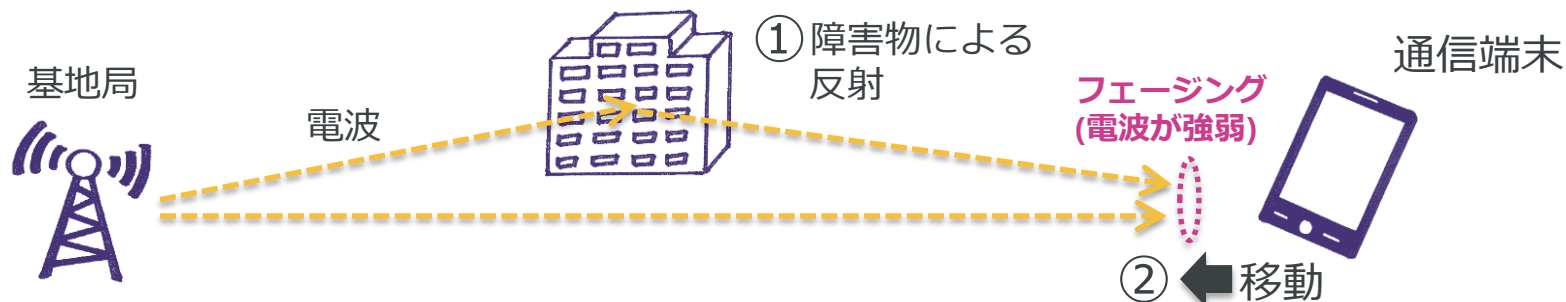
Mobile Devices
Protocol Technology



Azimuth

Network Infra.
RF Technology

実環境



ラボ内 (例: 通信端末試験)



IV- 3 . アジマスシステム社の買収 (2/2)

Anritsu
envision : ensure

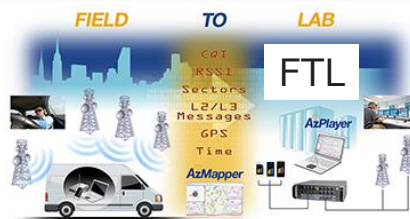


Azimuth
チャンネル・エミュレータ



OTA※向けソリューション

- 3CA/4CA ※OTA : Over The Air
- 4x4MIMO
- Cellular/WiFi 試験



Automotive向けソリューション

- Telematicsドライブエミュレーション
- 車載モジュール受信評価
- Cellular/WiFi 試験



5G用チャンネル・エミュレータ



5G R&D向けソリューション

- 5G RFコンフォーマンス試験
- 5G プロトコルコンフォーマンス試験

短期

両社が得意とする市場へコラボレーションによる売り上げ増

中期

①当社のプロトコル技術とアジマスシステム社のRF技術を融合したソリューションを提供（5Gの開発用測定器立ち上がり期）

②自動車市場にドライブエミュレーション等を展開

長期

5G端末用コンフォーマンス試験の提供

IV-4. 自動車市場における新技術の導入と アンリツの取り組み



- 4G対応テレマティクスの普及
- eCall搭載義務化
- 79GHzレーダーの利用拡大
- V2X実証実験の活発化

テレマティクス / eCall ※車両緊急通報



モバイルネットワーク
シミュレータ

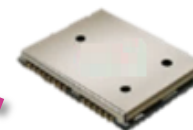


ミリ波信号送信機テスト

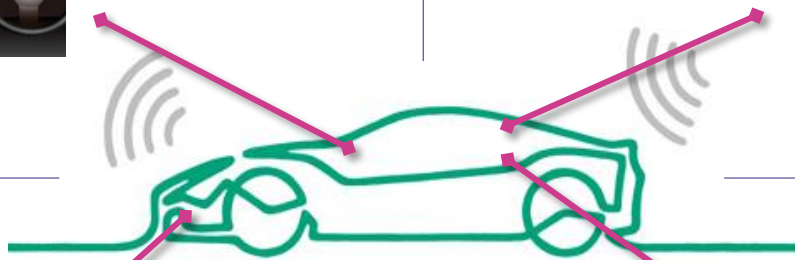


79GHz高分解能車載レーダー

モバイル通信 / コネクティビティ



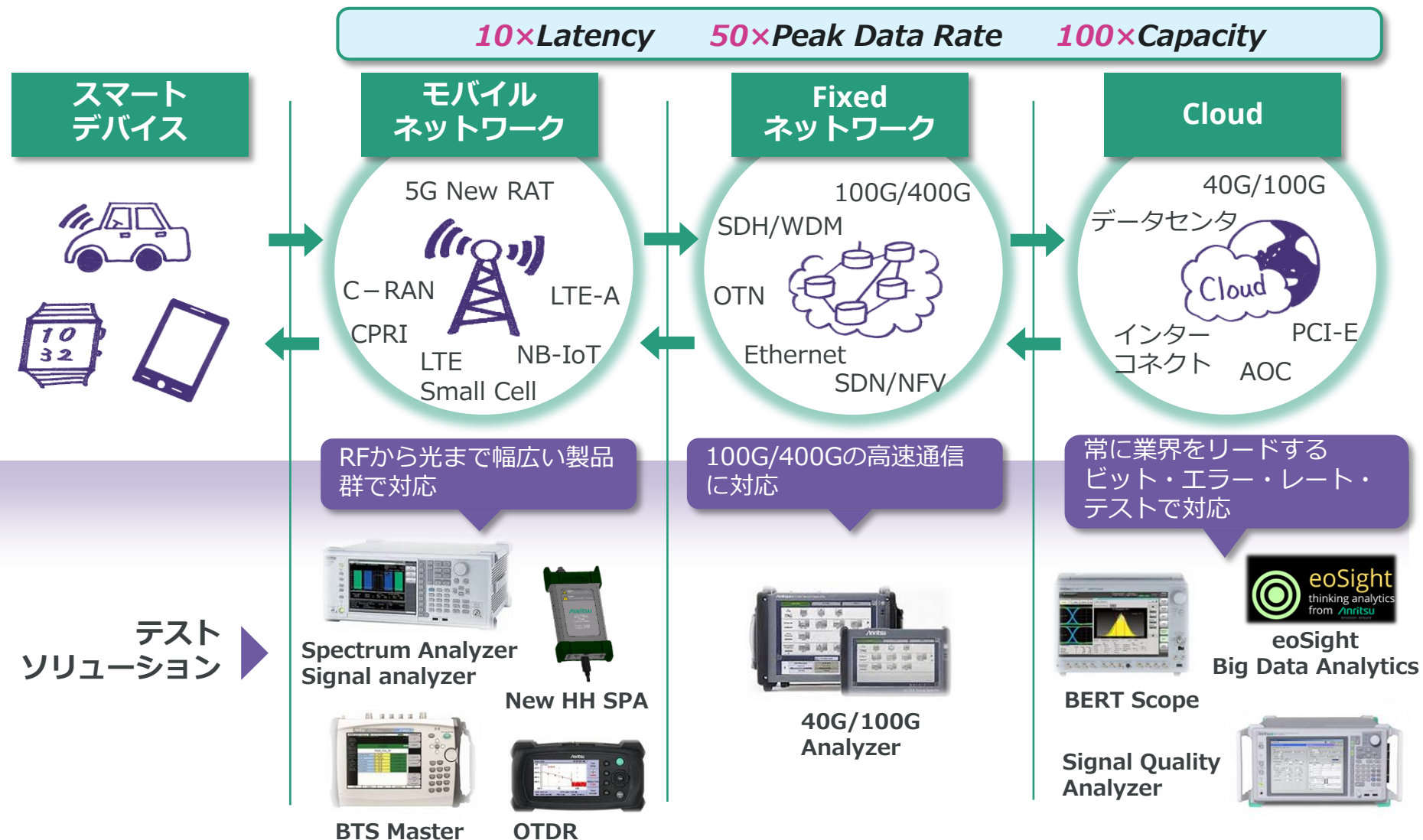
ワイヤレス通信
RF性能試験



V2X通信品質評価

V2X (802.11p) ※ 車車間・路車間通信

IV- 5 . 5Gバーチャルネットワークを支える テストソリューション



Anritsu
envision : ensure